

科目名「口腔機能発達学」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	野本たかと
科目ナンバリング	C-7-④-I-14	
単位数	2	
学修目標 (GIO)	ライフサイクルを通じた口腔機能の維持管理ができるようになるために、胎生期から老年期に至るまでの口腔機能の特徴や障害および維持管理に必要な知識、技術、態度を修得する。	
担当教員	*野本たかと、*林佐智代、*遠藤眞美、*地主知世、*江口采花、*鈴木千夏、*白田翔平、*岩澤依充子	
教科書	必要に応じて資料を配布する。	
参考図書	講義時に参考図書を示す。	
評価方法 (EV)	中間試験および定期試験（100％）を評価点とする。中間試験および定期試験は、各講義担当教員が出題し、その総合評価とする。なお、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科医療従事者の実務経験を活かして、人の生命の維持から生活の質に至るまで幅広く口腔機能の発達を支援できる人材を育成する内容を説明する。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/5	口腔機能発達概論	<p>【授業の一般目標】 人間発達と口腔機能発達概念について知識を修得する</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達の概念および理論について理解する</li> <li>2. ライフサイクルから見た口腔の機能についてその発達と変化について説明できる</li> <li>3. 口腔機能の全身への関与について説明できる</li> <li>4. 口腔機能の維持・管理におけるリスクについて説明できる</li> <li>5. 脳神経の発達と口腔機能との関連性を説明できる</li> <li>6. ライフサイクルから見た口腔感覚の発達と変化について説明できる地域における歯科衛生士による口腔機能の維持・管理について理解し、支援方法を理解する</li> <li>7. 口腔機能の維持・管理に携わる業種について説明できる</li> <li>8. 口腔機能の維持・管理における医療連携の重要性について説明できる</li> </ol> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分 予習内容：発達の概念について 復習時間：60分 復習内容：口腔機能の発達と変化について</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 なし</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	*林佐智代

<p>第2回 4/12</p>	<p>口腔機能に関わる解剖と生理学</p>	<p><b>【授業の一般目標】</b> 口腔機能発達に関連する解剖および生理学的特徴について理解する <b>【行動目標 (SB0s)】</b> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 口腔, 鼻腔, 咽頭, 喉頭, 食道の構造について説明できる 2. 口腔機能に関わる筋肉群の構造および機能について説明できる 3. 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる <b>【準備学習項目・時間】</b> 予習時間: 60分 予習内容: 頭頸部の解剖について 復習時間: 30分 復習内容: 摂食嚥下に関わる解剖およびメカニズム <b>【アクティブラーニングの有無】</b> なし <b>【学習方略 (LS)】</b> 講義</p>	<p>* 白田翔平 (野本たかと)</p>
<p>第3回 4/19</p>	<p>胎生期から乳児期(前期)の正常発達と障害</p>	<p><b>【授業の一般目標】</b> 胎生期から乳児期(前期)までの口腔機能の発達および障害について理解する <b>【行動目標 (SB0s)】</b> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 胎生期における口腔機能の発達および器官形態について説明できる 2. 乳児期の原始反射について説明できる 3. 哺乳に必要な口腔領域の原始反射について説明できる 4. 哺乳に必要な口腔領域の器官の特徴について説明できる 5. 胎生期から乳児期までの全身と口腔機能の発達に関連について説明できる 6. 胎生期から乳児期までの障害について説明できる <b>【準備学習項目・時間】</b> 予習時間: 60分 予習内容: 哺乳について調べる 復習時間: 60分 復習内容: 胎生期から乳児期までの口腔機能について <b>【アクティブラーニングの有無】</b> なし <b>【学習方略 (LS)】</b> 講義</p>	<p>* 江口采花 (野本たかと)</p>
<p>第4回 4/26</p>	<p>乳児期(後期)の正常発達</p>	<p><b>【授業の一般目標】</b> 乳児期(後期)の口腔機能の発達について理解する <b>【行動目標 (SB0s)】</b> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 乳児期(後期)における離乳の開始時期について説明できる 2. 離乳開始時期から離乳完了期までの口腔機能の発達について説明できる 3. 離乳開始時期から離乳完了期までの口腔の器官形態の変化について説明できる 4. 離乳開始時期から離乳完了期までの全身と口腔機能の発達に関連について説明できる <b>【準備学習項目・時間】</b> 予習時間: 60分, 予習内容: 離乳について調べる 復習時間: 60分, 復習内容: 離乳開始期から離乳完了期までの発達について <b>【アクティブラーニングの有無】</b> なし <b>【学習方略 (LS)】</b> 講義</p>	<p>* 江口采花 (野本たかと)</p>

<p>第5回 5/10</p>	<p>幼児期から学童期の正常発達</p>	<p>【授業の一般目標】 幼児期から学童期の口腔機能の正常発達について理解する 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 幼児期から学童期における食事の自立について説明できる 2. 食事の自立における眼と手と口の協調について説明できる 3. 食事の自立における全身と口腔機能の発達の関連について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：食事の自立について調べる 復習時間：60分、復習内容：食事の自立の発達について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*地主知世 (野本たかと)</p>
<p>第6回 5/17</p>	<p>乳児期（後期）から学童期の障害</p>	<p>【授業の一般目標】 乳児期（後期）から学童期の口腔機能の障害について理解する 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 口腔機能の障害の原因疾患について説明できる 2. 離乳における摂食嚥下機能障害について説明できる 3. 離乳における摂食嚥下機能障害と食環境との関連について説明できる 4. 離乳における摂食嚥下機能障害と食内容との関連について説明できる 5. 食事の自立における摂食嚥下障害について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分 予習内容：離乳期における摂食嚥下障害について調べる 復習時間：60分 復習内容：離乳期および食事の自立における摂食嚥下障害について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*野本たかと</p>
<p>第7回 5/24</p>	<p>成人期から老年期の正常機能と障害</p>	<p>【授業の一般目標】 成人期から老年期の口腔機能の特徴と障害について理解する 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 成人期から老年期における身体、運動機能、認知機能、社会性の変化について説明できる 2. 成人期から老年期における口腔機能の変化について説明できる 3. 成人期から老年期における栄養障害について説明できる 4. 成人期から老年期における食の問題について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：成人期から老年期における口腔機能の変化について調べる 復習時間：60分、復習内容：成人期から老年期における口腔機能の特徴について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*鈴木千夏 (野本たかと)</p>

<p>第8回 5/31</p>	<p>中間試験</p>	<p>【授業の一般目標】 第1回から第7回までの講義内容についての知識を総復習し、修得の有無を確認する 【行動目標 (SBOs)】 第1回から第7回までの講義内容についての知識を総復習する 【準備学習項目・時間】 予習時間：180分、予習内容：第1回から第7回までの講義内容 復習時間：60分、復習内容：平常試験にて理解ができていなかった項目について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*野本たかと *林佐智代 *地主知世 *江口采花 *白田翔平 *鈴木千夏</p>
<p>第9回 6/7</p>	<p>口腔機能の維持・ 管理に必要な言語 機能</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の1つである言語の正常発達と障害について理解する 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 音声言語コミュニケーションのメカニズムについて説明できる 2. 音声言語の正常発達について説明できる 3. 音声言語の障害について説明できる 4. 音声言語のトレーニングについて説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分 予習内容：音声言語のメカニズムについて調べる 復習時間：60分 復習内容：音声言語の発達について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*鈴木千夏 (野本たかと)</p>
<p>第10回 6/14</p>	<p>口腔機能の維持・ 管理のための適切 な食事介助</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の維持・管理に必要な食事場面での適切な介助の方法について理解する 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 食事介助における姿勢の調整について説明できる 2. 食事介助における食具の選択について説明できる 3. 食事介助方法について説明できる 4. 食事介助が実施できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分 予習内容：食事介助の注意点について調べる 復習時間：60分 復習内容：食事介助方法について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*地主知世 (野本たかと)</p>

<p>第11回 6/21</p>	<p>口腔ケア概論</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔ケアの重要性および概念を理解する 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 口腔ケアの定義および意義について説明できる 2. 口腔ケアの効果について説明できる 3. 口腔に影響を与える薬剤について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：口腔ケアの意義について調べる 復習時間：60分、復習内容：口腔機能の維持・管理について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岩澤依充子 (野本たかと)</p>
<p>第12回 6/28</p>	<p>器質的口腔ケア</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の維持管理に必要な器質的な口腔ケアについて理解する 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 器質的口腔ケアの意義について説明できる 2. 器質的口腔ケアに必要なアセスメントができる 3. 器質的口腔ケアに必要な道具について説明できる 4. 器質的口腔ケアの方法について説明できる 5. 器質的口腔ケアが実施できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分 予習内容：器質的口腔ケアの方法について調べる 復習時間：60分 復習内容：器質的口腔ケアの方法について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*白田翔平 (野本たかと)</p>
<p>第13回 7/5</p>	<p>機能的口腔ケア</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の維持・管理に必要な機能的な口腔ケアについて理解する 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 機能的口腔ケアの意義について説明できる 2. 機能的口腔ケアに必要なアセスメントができる 3. 機能的口腔ケアの方法について説明できる 4. 機能的口腔ケアが実施できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分 予習内容：機能的口腔ケアについて調べる 復習時間：60分 復習内容：機能的口腔ケアについて 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*遠藤真美</p>

<p>第14回 7/12</p>	<p>集団における口腔 ケア</p>	<p>【授業の一般目標】 集団における口腔ケアについて理解する 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 1. 集団における口腔ケアの意義について説明できる 2. 集団における口腔ケアにおけるアセスメントについて説明できる 3. 集団における口腔ケアの方法について説明できる 4. 集団における口腔ケアが実施できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：集団における口腔ケアの方法について調べる 復習時間：60分、復習内容：集団における口腔ケアについて 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*遠藤真美</p>
<p>第15回 7/19</p>	<p>定期試験</p>	<p>【授業の一般目標】 第1回から第7回、8回目から14回目までの講義内容についての知識を総復習し、修得の有無を確認する 【行動目標 (SB0s)】 第1回から第7回、8回目から14回目までの講義内容についての知識を総復習する 【準備学習項目・時間】 予習時間：180分、予習内容：第1回から第7回までの講義内容 復習時間：60分、復習内容：平常試験にて理解ができていなかった項目について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*野本たかと *遠藤真美 *鈴木千夏 *白田翔平</p>